



2025年(令和7年)

5号

生駒市立桜ヶ丘小学校

サクショウクエス 2025

今年の桜ヶ丘小学校の運動会の全校競技は「運んで送って〇〇〇〇!」ですが〇〇〇〇に入るのは次のうちどれでしょう。  
※正解は次号にて

A 春夏秋冬 B 一致団結 C 安全運転

※前号のこたえはC 郵便局です。

## 全国学力・学習状況調査

### －国語・算数・理科編－

4月17日(木)に第6学年の児童を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査(国語、算数、理科)と4月22日(火)に実施された質問調査の結果がWebで学校に公表されました。

本校は、平均正答率が、国語で全国より7.2ポイント、奈良県より7ポイント、算数で全国、奈良県より10ポイント、理科で全国より6.9ポイント、奈良県より7ポイント高く、三教科全て全国及び奈良県より高い結果となりました。

国語科では、「事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる(読むこと)」(全国よりも14.3ポイント高い)や「情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる(情報の扱い方に関する事項)」(全国よりも12.8ポイント高い)が全国及び奈良県より顕著に高い結果となり、「書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる(書くこと)」が課題と言えるかもしれません。国語について、「国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたりくわしく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていますか」の質問によくしている、どちらかといえば、していると答えた児童の割合が全国より少し下回っていることから、これらのことができるようにする指導の充実が大切です。

算数科では、「台形の意味や性質について理解している(B 図形)」(全国よりも19.5ポイント高い)や「示された資料から、必要な情報を選び、数量の関係を式に表し、計算することができる(A 数と計算)」(全国よりも15.7ポイント高い)が全国及び奈良県より顕著に高い結果となり、「角の大きさについて理解している(B 図形)」が課題と言えるかもしれません。「辺の長さや角の大きさに着目して、図形の構成の仕方を考えること」ができるように指導することが大切です。

理科では、「水が氷に変わる温度を根拠に、オホーツク海の氷の面積が減少した理由を予想し、表現することができる(「粒子」を柱とする領域)」(全国よりも20.5ポイント高い)や「レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現することができる(「生命」を柱とする領域)」(全国よりも16ポイント高い)が全国及び奈良県より顕著に高い結果となり、「水の蒸発について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解している(「粒子」「地球」を柱とする領域)」が課題と言えます。

「温度によって液体の水の状態が蒸発して気体の水蒸気に変化すること」が理解できるように指導することが大切です。

